

2019年2月20日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

演奏会「『古楽の街再発見！Part4』～古楽による日独の架け橋～
J.S.バッハ『ロ短調ミサ曲』BWV232」開催のご案内

本学教育学部では、下記の通り、演奏会「『古楽の街再発見！Part4』～古楽による日独の架け橋～J.S.バッハ『ロ短調ミサ曲』BWV232」を開催します。

今回は、本学学生・大学院生や県内の音楽愛好者を中心に、東京近郊から招聘する演奏家の力を結集して、この大曲に取り組みます。この作品は音楽史に燦然と輝く合唱曲で、その荘厳な響きと比類なき美しさから、ユネスコの世界記憶遺産にも登録されている稀有な曲です。今回指揮を務める片野耕喜 教育学部教授は、この作品にも古楽様式によるアプローチで臨み、今回トッププレーヤーを揃えたバロックオーケストラを組織しました。またドイツから著名なソリストを招聘し、国内の一流の独唱者ととも豪華な編成でリハーサルを重ねています。

つきましては、当イベントを多くの方に知っていただくためにも、イベント情報欄等でご紹介のほどお願い申し上げます。また、当日の取材もよろしく申し上げます。

記

【日時】2019年3月3日（日）15：00開演（開場14：30）

【会場】桃源文化会館 桃源ホール（南アルプス市飯野2971）

【内容】ソプラノ：タニア・アスペルマイヤー、高橋侑希（教育学部特任助手）

アルト：山下牧子

テノール：クヌート・ショホ

バス：中川郁太郎

ヴァイオリン：長岡聡季

チェロ：諸岡範澄

山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ

合唱：甲府コレギウム・アウレウム

指揮：片野耕喜（教育学部教授）

【お問い合わせ先】

山梨大学教育学部

TEL：055-220-8250

E-mail：geibun-music@yamanashi.ac.jp

【広報担当】

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

『古楽の街再発見！ Part 4』～古楽による日独の架け橋～

J.S.バッハ「口短調ミサ曲」演奏会

J.S. Bach / Messe in h-Moll BWV232

2019.3.3 (日) 15:00開演(14:30開場) / 入場無料

The third of March 2019, 15:00 (Door open:14:30) / Admission Free

桃源文化会館 桃源ホール (南アルプス市)

Togen Culture Hall Togen Hall (Minami-Alps City)

ソプラノ：タニア・アスペルマイヤー 高橋侑希
Soprano : Tanya Aspelmeier Yuki Takahashi

アルト：山下牧子
Alto : Makiko Yamashita

テノール：クヌート・ショホ
Tenor : Knut Schoch

バス：中川郁太郎
Bass : Ikutaro Nakagawa

ヴァイオリン：長岡聡季
Violin : Satoki Nagaoka

チェロ：諸岡範澄
Violoncello : Norizumi Morooka

山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ
Yamanashi Bach Academy Baroque Orchestra

合唱：甲府コレギウム・アウレウム
Chorus : Kofu Collegium Aureum

指揮：片野耕喜
Conductor : Koki Katano



タニア・アスペルマイヤー(ソプラノ)

Tanya Aspelmeier, Soprano

ハンブルク音楽大学を「最優秀」で卒業。ドイツ音楽コンクールなど数々のコンクールで受賞。レパートリーにラモーン、リュリなどのバロックオペラから、モーツァルト(後宮からの誘拐)他、さらにはオペレッタや現代オペラ(ヘンツェ)まで含まれている。とりわけバロックの分野では評価が高く、F.ベルニウスなど一流の指揮者と共演している。これまでハンブルク州立歌劇場、マドリッド王立劇場をはじめ、東京、ウィーン、ザルツブルクなどの各都市で国際的な演奏活動を行っている。録音には、T.ヘンゲルブロック指揮<Bach, Lotti, Zelenka>(2010年グラモフォン賞受賞作品)などがある。2015年にはR.シュトラウス<4つの最後の歌>を演奏。2017年のエルプフィルハーモニーのこけら落としではI.メツマッハー指揮でシェンベルク(モーゼとアロン)のソリストを務める。2018年10月からウィーン国立音楽大学教授。



山下牧子(アルト)

Makiko Yamashita, Alto

広島大学を経て東京芸術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール第1位。第72・73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。これまでに二期会、新国立劇場を中心に、《ジュリアス・シーザー》タイトルロール、《ゴジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《イドメネオ》イダマンテ、《カルメン》タイトルロール、《死の都》ブリギッタ、《サロメ》ヘロディアス等を演じ、近年も二期会《トリスタンとイゾルデ》ブランゲーネや新国立劇場《蝶々夫人》スズキで好評を博している。また、「第九」《メサイヤ》を始めマーラー「復活」やロッシーニ「スターバト・マーテル」、ヴェルディ「レクイエム」などで活躍している。二期会会員。



中川郁太郎(バス)

Ikutaro Nakagawa, Bass

東京芸術大学大学院独唱科修了。ドイツ・ライプツィヒに留学し、ハレ教会音楽大学やコンセル・ロレーヌ主催の古楽アカデミーでも学ぶ。多田羅迪夫、大島博、故太田直樹、P.シュライアー、H.Ch.ポルスター他の各氏に師事。藝大定期ハイドン《天地創造》でデビューし、バッハ《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》《ロ短調ミサ曲》、ヘンデル《メサイア》、メンデルスゾーン《エリヤ》他、多数の宗教曲や《第九》のソリストを務める。また、東京室内歌劇場コンサートシリーズへの出演をはじめ、シューベルト《冬の旅》、ブラームス《麗しのマゼローネ》等のリサイタルでも好評を博す。東京室内歌劇場会員、東北学院大学宗教音楽研究所特任准教授。



諸岡範澄(コンティヌオリーダー)

Norizumi Morooka, Continuo leader

国立音楽大学器楽科卒業。ブルージュ国際古楽コンクールアンサンブル部門第一位(Trio van Beethoven)。これまでBCJを始め数多くの演奏会、CD録音に参加。「第12回古楽コンクール・山梨」審査員、韓国ソウル芸術大学バロック音楽セミナーや漢陽大学「コレグウム・ムジクム・漢陽」の指導者、西東京市主催企画「ベートーヴェンの学校」(校長・西原 稔)音楽監督を務める。指揮者としてのCDには「1770年代の二長調交響曲集」「1780年代のト短調交響曲集:コジェルフ&モーツァルト」などがある。現在「東京五美術大学管弦楽団」「オーケストラ・Mzima」「弦楽合奏団エテルニータ」指揮者。オーケストラ・シンポジウム音楽監督。



高橋侑希(ソプラノ)

Yuki Takahashi, Soprano

山梨県中央市出身。甲府南高等学校、山梨大学教育学部卒。山梨大学大学院、ハンブルク音楽院修了。餌取智子、片野耕喜、川口聖加、藤井あや、イルゼ・クリスティーネ・オットー、タニア・アスペルマイヤーの各氏に師事。2016年にシューマン「女の愛と生涯」など、ドイツリートプログラムによるリサイタルを開催。これまでに、ストラヴィンスキー「プルチネッラ」、フクステフデ「われらがイエスの御体」等でソリストを務める。東京国際声楽コンクール第2位、日本ドイツ歌曲コンクール入選、大阪国際声楽コンクールエスポワール賞受賞。現在、山梨大学教育学部芸術身体教育コース特任助手。



クヌート・ショホ(テノール)

Knut Schoch, Tenor

ハンブルク音楽大学にてヴィルフリート・ヨッヘンズに師事。多岐にわたるレパートリーは中世の作品から現代曲の初演にまで及ぶ。オラトリオ、バロック(モンテヴェルディなど)や古典のオペラを得意とし、中でもバッハのカンタータやオラトリオ(エヴァンゲリスト)などの作品における当時の演奏様式の再現に歌手活動の重点を置いており、レオンハルト、コープマンなど著名な指揮者のもとで歌っている。これらの作品や歌曲の演奏による100を超えるCDがある。コンサート活動はバイエルン州立歌劇場、ウィーン劇場などヨーロッパ以外にもアジア、アメリカに及んでおり、来日回数も多い。1993年からハンブルク音楽院、2008年10月からプレーメン音楽大学にて教鞭をとる。また1999年から2002年までハンブルク音楽大学にて教授を務めた。



長岡聡季(コンサートマスター)

Satoki Nagaoka, Concertmaster

東京芸術大学大学院室内楽科博士後期課程修了(博士(音楽))。アルジェリア、イタリアで室内楽公演、台湾(台北・台中)でリサイタルを行うなど国際的に活動する。横浜シンフォニエッタにてシーズンメンバー及びコンサートマスター、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神戸市内合奏団、群馬交響楽団にてゲスト・コンサートマスターを務める。オリジナル楽器奏者としては、BCJ、オーケストラ・リベラ・クラシカ等の公演や録音に参加。合唱指揮者としても活動し、現在、聖学院メサイア合唱団、合唱団コーロソオーヴォ、各常任指揮者。東京芸術大学室内楽科にて非常勤講師を務め、現在は北海道教育大学岩見沢校特任准教授。



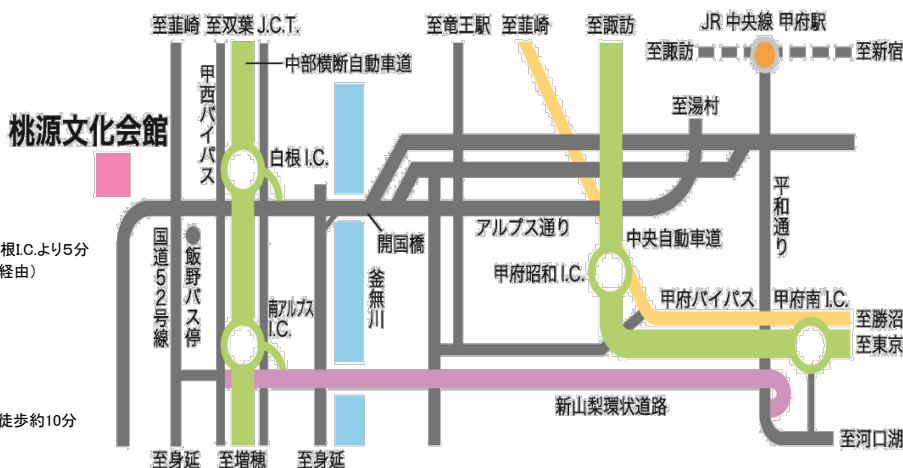
片野耕喜(指揮)

Koki Katano, Conductor

本公演のプロジェクトリーダー。東京学芸大学、東京芸術大学大学院、ハンブルク音楽院、プレーメン芸術大学古楽科卒。オラトリオの独唱を得意とし、バッハなどの歌唱はドイツでも高い評価を受けている。さらにイギリス、フランス、イタリア、オーストリアなどの多くの都市で演奏。ドイツ歌曲の分野でもシューベルト「冬の旅」、「水車屋の娘」、シューマン「詩人の恋」などを国内外で歌い、録音している。その他BCJと共演したバッハ「ヨハネ受難曲」(King)とカンタータ集(BIS)などの録音多数。2003年より『甲府コレグウム・アウレウム』を主宰し、これまでバッハ「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」などで独唱、指揮をしている。山梨大学大学院教授。

桃源文化会館 桃源ホール

山梨県南アルプス市飯野2971番地



- 自動車/中央自動車道 ●双葉J.C.T~中部横断自動車道 白根I.C.より5分
 - 甲府昭和I.C.より20分(アルプス通り経由)
 - 甲府南I.C.より20分(環状道路経由)
- 電車/JR中央線(特急スーパーあずさ/あずさ/かいじ)
 - 新宿駅-甲府駅(約90分)
 - ※甲府駅からはバス・タクシーの利用となります
- バス/山梨交通バス 甲府駅南口1番線より(系統番号42/47)
 - 西野経由-小笠原下仲町行き
 - または 西野経由-飯沢営業所行き飯野停留所下車 徒歩約10分
- タクシー/●甲府駅より約30分 ●竜王駅より約20分